

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年 04月 25日

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
22年度実績		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
<ul style="list-style-type: none"> ・「真岡市健康21プラン推進協議会」を開催し21年度の実績を踏まえ22年度のプラン推進のため進行管理・関係機関との連携を図るための協議がなされた。 ・「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」について重点目標とし関係機関と協働して事業を推進した。母子・成人保健事業について上記目標を課題として推進した。 ・地域健康づくり事業（延べ71地区）各区健康推進員活動（延べ272回）など地域ぐるみの事業が実施され「食事バランスガイド真岡版」等の普及に努めた。健康づくり講演会・運動講演会を実施した。 ・「たばこ」については禁煙教室の開催・健康フイスティバル等による受動喫煙防止の啓発を実施した。 		ア 真岡市健康21プラン推進協議会	回		1	1	1	1
23年度計画		イ 運動推進講演会	回		1	2	3	3
<ul style="list-style-type: none"> ・「真岡市健康21プラン」の中間評価と改訂版の作成。 ・平成22年度引き続き重点目標である「栄養・食生活」「身体活動・運動」「たばこ」について関係機関と協同し事業を推進していく。 		ウ 健康づくり講演会	回			1	1	4
		エ 禁煙教室	回		1	2	1	1
		オ 健康推進員活動回数	回			214	272	315
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
市民		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 市民	人	66544	66712	82997	82830	82830
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守りつくる」という意識を高める ・市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む姿勢を育む 		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 真岡市健康21プラン推進協議会	人		13	13	13	14
		イ 運動推進講演会	人		52	79	88	90
		ウ 健康づくり講演会	人			275	183	300
		エ 禁煙教室	人			35	80	30
		オ 健康推進員地区活動延べ人数	人			28720	30117	30300
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
主観的に健康づくりを行い、健康寿命を延ばす。		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 運動推進講演会の参加率	%		86.6	79	87.1	100
		イ 延期の喫煙率	%	1.9	2.9	3.9	2.67	2.3
		ウ 健康づくり講演会の参加率	%		91.6	101.6	100	
		エ 禁煙教室参加率	%		87.5	80.0	100	
		オ 健康推進員活動率	%		66.2	64.7	70.0	
(2)総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	10	127	163	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	788	55	400	492	0
	事業費計(A)		千円	788	65	527	655	0
人件費	正規職員従事人数	人	4	8	7	6	0	
	延べ業務時間	時間	304	60	304	1,000	0	
	人件費計(B)	千円	1,273	251	1,233	4,268	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,061	316	1,760	4,923	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか？		健康増進法に基づく市町村健康増進計画として平成19年度に策定した。						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？								

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 健康づくりを体系づけ、関係機関と協働して進めることは市の施策のひとつである「健康で思いやりに満ちた社会づくり」に結びついている
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある プランに基づき市と関係機関が健康づくりをすることは施策の焦点が絞り込め効果が期待できる
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 各ライフステージにおいて、プランにもとづき健康づくりの取り組みをしているため対象は適切である
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 関係機関の代表者による推進協議会が設置され、進行管理のもと事業を実施しており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 目標のない施策は問題を漠然としてしまい成果が期待できないため廃止休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の事業費で実施しており削減はむずかしい。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 他事業とのタイアップ・他団体・住民の協力も得ての実施であり、最小限の人件費で実施しているので削減は難しい。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民全体が対象であり公平性がある。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								